



夢の星新聞 《3年生》

2026年1月5日（月）

発行 宇佐キャンパス

1月号 編集人：藤井・矢野

1月号

挑戦や飛躍のチャンス『午年』。ワクワク・ドキドキで行こう!!

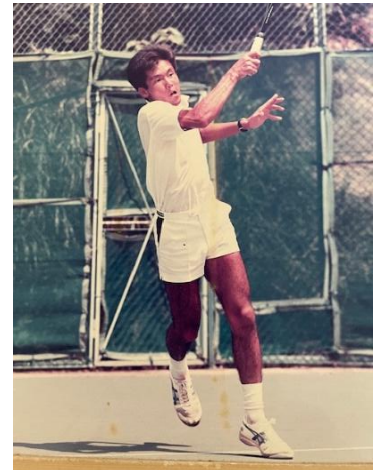


皆さん、新年、明けましておめでとうございます！ 今年は『午年』です。
午年は「勢いよく進む」「大きく成し遂げる」年とされ、持てる力を一気に発揮し、挑戦や飛躍のチャンスに恵まれる年であると考えられています。
まさに、皆さんにピッタリの年です。進学する人、就職する人、様々ですが、それぞれが、新しい第1歩をワクワク・ドキドキしながら、踏み出していって下さい。卒業式までは、スクーリングも何もないので、学校に来ることはほとんどないと思いますが、ちょっと寂しいので、去年の颯真のように、時間があれば、顔を出すようにしてね！ 待っとるバイ (^^)/



皆さんには、なんでもいい。何か「熱中できるもの」を見つけて欲しい・・・。

私は大学の4年間、硬式テニスに熱中していました。正月休みを除いて、ほぼ毎日朝から夕方まで部活で汗を流し、夕方からは、テニスのインストラクターのバイトをやっており、本当にテニス漬けの毎日でした。そのおかげで、テニスを通じて、たくさんの仲間と出会うことができたし、テニスというスポーツから、多くのことを学びました。例えば、どうすれば強い相手に勝てるのか？ 自分なりに必死に考えて練習しました。そういった経験が私の今の人生を作り上げているのだと思います。皆さんも、できれば、「熱中できるもの」を見つけて下さい！ なんでも良いです。そのためには、まず、自分の「好き」を振り返り、失敗や挫折を恐れずに、新しいことに挑戦してみる ことです。将来、何かの役にきっとなりますよ！ 間違いない!!



担任から、ひとこと

『美味しい』と感じられる日が、また来る

2025年本屋大賞を受賞した『カフネ』は、喪失を経験した主人公が、人との出会いや「食べること」を通して、少しずつ前を向いていく物語です。皆さんも、つらい出来事があって心が追いつかない日があるかもしれません。それでもお腹は空き、ご飯を食べ



ると「美味しい」と感じる。その何気ない感覚が、今日を生き抜く力になります。進路や将来に迷う今、不安を感じるのは自然なことです。すぐに答えが出なくても大丈夫。人とのつながりや日常の中に、必ず小さな希望はあります。自分の気持ちを大切にしながら、一歩ずつ前へ。

副担任から、ひとこと

サクソ、もっと上手になりたいー!!

昨年6月から始めたサクソ。文化祭でいいところを見せたいと思っていたのですが、残念ながら、不完全な演奏となってしまいました。でも、初めて人前で演奏して、正直楽しかったです！ 自分の演奏だけでなく、他の楽器と音-リズムを合わせるって、本当に難しいことですが、難しいからこそ、何とかしてやろう！ って気持ちにもなりますし、上手に行った時の喜びは



計り知れません。まずは、サクソの基礎をしっかり叩き込んで、来年、必ずリベンジしてみせます！ 是非、見に来てね～ (^^)/